

みんなで作る 未来の場 かたち

ぶらっと

2022年
12月15日号

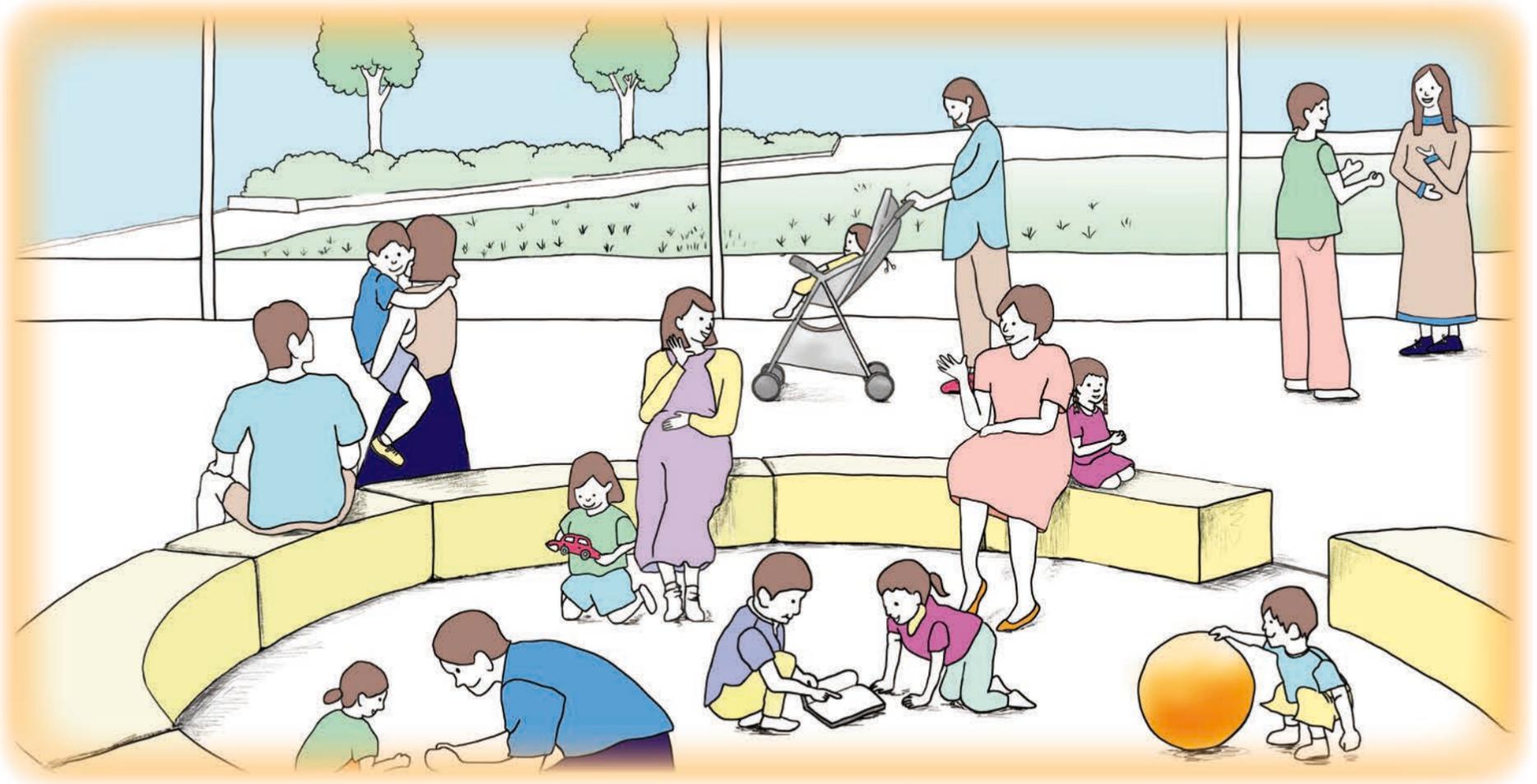
Vol. 9

発行:町田市 編集:政策経営部企画政策課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
TEL 042-724-2103 FAX 050-3085-3082

公共施設マネジメントに関する
詳しい情報はこちら(町田市
ホームページ)をご覧ください。



「ぶらっと」には、ぶらっと誰でも気軽に立ち寄れるという意味と、みんなが集い交流するプラットフォームという意味を込めました。本紙は不定期発行です。



皆さまのご意見をお寄せください

(仮称)町田市子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画

町田市では、教育センターと子ども発達センターをはじめとした子ども関連の機能を複合化し、子ども・子育てに関する様々な支援を切れ目なく受けることができるとともに、地域に開かれた地域の魅力づくりの核となる施設の整備を目指して、「(仮称)町田市子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画」の策定に向けた検討を進めています。

策定に向け、ぜひ皆さまのご意見をお寄せください。

詳しくは中面を
ご覧ください



公共施設再編
(見直し)キャラクター
まちやん

市民意見募集



皆さまのご意見をお寄せください【募集期間：12月15日(木)～2023年1月16日(月)】

件名 (仮称) 町田市子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画
資料の閲覧・配布 資料は、町田市HPに掲載するほか、市庁舎(4階企画政策課、1階広聴課・市政情報課)、各市民センター、各市立図書館等で閲覧・配布します。
ご意見の提出方法 ①窓口(市庁舎4階企画政策課) ②FAX: 050-3085-3082
 ③Eメール: mcity2980@city.machida.tokyo.jp

留意事項 ・提出書式は自由ですが、①件名(「(仮称) 町田市子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画」)、②氏名(又は団体名)、③住所、④電話番号を必ずご記入ください。
 ・電話・窓口での口頭によるご意見はお受けできません。
 ・ご意見要旨及び市の考え方は、個人情報を除き、市HPにて2023年3月頃に公表予定です。



はじめに

町田市の公共施設マネジメントを踏まえて

市では、1960年代後半から1970年代前半にかけての人口急増に伴い公共施設を整備してきたため、公共施設の多くで老朽化が進んでおり、更新の時期を迎えています。さらに、人口や市税収が減っていく中で、施設総量を圧縮しながらも社会状況の変化や市民ニーズを捉えた公共サービスの維持・向上を図ることが求められています。本計画においても、子ども・子育て支援を中心とした様々な機能を多機能化・複合化するとともに、民間事業者とのコラボレーションによる新たな価値の創出、費用削減を実現します。

子ども・子育てサポートと地域の魅力づくりの核となる施設を目指して

本計画は、教育センターと子ども発達センターをはじめとした子ども関連の機能を複合化し、子ども・子育てに関する様々な支援を切れ目なく受けることができる拠点としての(仮称) 町田市子ども・子育てサポート等複合施設整備を目的としています。また、境川団地地区の中心となる本計画地に、地域に開かれた日常的に使える施設を整備するとともに、地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できる民間サービスを導入することで、地域の魅力づくりの核となる施設を目指します。

新施設のコネクト

子ども・子育て支援を切れ目なく受けることができる施設

- ・母子保健機能と子ども・子育てに関する支援機能を複合化することで、「こども家庭センター※」に対応することに加えて、子ども・子育てに関する様々な支援を切れ目なく受けることができる拠点を目指します。
- ・児童発達支援機能と教育支援機能を複合化することで、幼児期から学齢期まで切れ目のないサポートを受けることができるなど、子どもの発達や教育上の課題に対する総合的支援体制の一層の充実につなげます。
- ・子育て世帯の交流が自然と生まれる施設を目指します。

地域に開かれた日常的に使える心地よい居場所

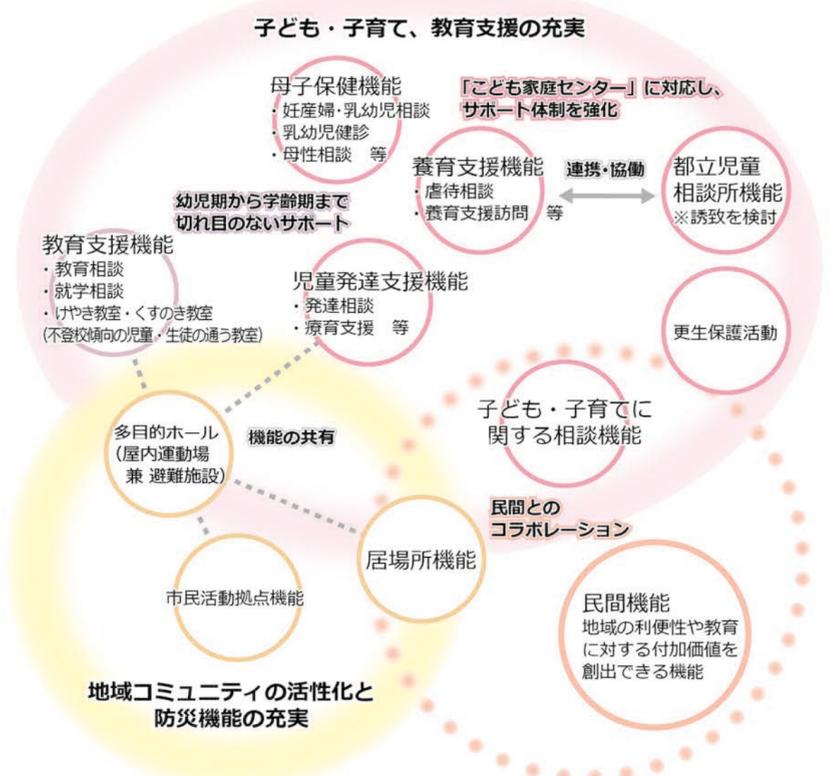
- ・子育て世帯など、目的があって施設を訪れる方だけでなく、地域にお住まいの高齢者など、様々な市民が気軽に立ち寄って時間を過ごせるような施設を目指します。
- ・境川や河川沿いの緑地帯、そして、境川団地や住宅などの、周辺環境と調和し、かつ、地域の象徴(シンボル)となる施設を目指します。
- ・広い敷地を活かし、地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できる民間サービスの誘致を図ります。

新施設に導入を予定している機能

- ・子ども・子育てに関する相談
 - ・発達相談、療育支援
 - ・虐待相談、養育支援訪問
 - ・妊産婦・乳幼児相談、乳幼児健診等の各種健診
 - ・教育相談、就学相談、けやき教室・くすのき教室(不登校傾向の児童・生徒の通う教室)
 - ・非行相談等の更生保護活動
 - ・地域活動
 - ・居場所機能
 - ・地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できる機能
- ※この他、都立児童相談所の誘致等を検討



※現在の子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)と子育て世代包括支援センター(母子保健)の設立の意義や機能は維持した上で組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関。「児童福祉法等の一部を改正する法律」(2022年6月成立、2024年4月1日施行)により、市町村の設置が努力義務となった。



計画地

●は複合化対象機能の現在の建物



新施設整備に向けた今後のスケジュール

※スケジュールは、変更となる場合があります。

(年度)	2022	2023	2024
	都市計画変更・基本計画策定	設計・建設事業者等公募準備	公募・契約
	2025	2026	2027
	設計・建設工事		
	2028	オープン	

今後もぶらっとや市HP等で進捗を報告するよ!



新施設の利用イメージ



短期再編プログラムの進捗状況

昨年度から今年11月までの主な進捗状況をお知らせします。

庁舎・窓口等(市民部)

「町田市市民センター等の未来ビジョン」の実現に向けた具体的な取り組みを検討しました

2021年3月に策定した「町田市市民センター等の未来ビジョン」に基づき、具体的な取り組みを検討しました。

【「町田市市民センター等の未来ビジョン」とは】

市民センター、駅前連絡所、コミュニティセンター等の将来像等を示しています。市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指します。

【具体的な取り組み(2022年6月決定)】

市民センター等の魅力向上などを目的としたイベントなどを実施します。また、2023年1月末をもって南町田駅前連絡所を閉所します。取り扱っていた各種申請書の受付等の窓口サービスは、南町田グランベリーパーク駅周辺の事業者へ委託し、継続します。

【今後の予定】

具体的な取り組みを推進し、ビジョンの実現を目指します。

学校(学校教育部)

「町田市新たな学校づくり推進計画」に基づき、5地区(本町田、南成瀬、鶴川東、鶴川西、南第一)の新たな学校づくりに向けた検討を進めています。

2021年5月に策定した計画に基づき、地区ごとの新たな学校づくり基本計画検討会を立ち上げました。学校統合を伴う4地区(本町田、南成瀬、鶴川東、鶴川西)では2021年12月から10回、単独建替えとなる南第一小学校地区では2022年5月から5回、検討会を開催しています。

検討会では主に、施設配置、通学の負担軽減、通学路の安全対策、統合等における子どもへの配慮等について検討しています。

【今後の予定】

各地区の検討会から、新たな学校の設置に向けた検討の報告を受け、2023年2月に、地区ごとの新たな学校づくり基本計画を策定します。

その他教育施設

(学校教育部・文化スポーツ振興部)

・中学校全員給食に向けて、PFI手法を活用した中学校給食センターの整備を進めています

・旧忠生第六小学校の体育館等整備に向けた検討を進めています

旧忠生第六小学校は、「食」と「スポーツ」の両面から健康増進関連拠点を目指しています。

・2022年3月に策定した「まちだの中学校給食センター計画～おいしく食べて地域みんなで健康に!～」に基づき、官民連携手法を用いて給食センターの整備や運営を効率的に行うため、PFI事業者等の選定を進めています。

・体育館等の整備について、サウンディング型市場調査を実施し、事業手法等の検討を行いました。

【今後の予定】

・2025年度までに、3箇所の中学校給食センターの整備を進めます。

・サウンディング型市場調査の結果も踏まえ、体育館等整備の事業化に向けた検討を進めます。

供給処理施設(環境資源部)

町田市バイオエネルギーセンターの本稼働を開始しました

町田市バイオエネルギーセンターの熱回収施設(焼却施設)、不燃粗大ごみ処理施設、首都圏初となる乾式メタン発酵施設(バイオガス化施設)の整備工事が完了し、2022年1月より本稼働を開始しました。

管理棟や屋外のテラスには、市民が集い、憩うことのできる空間を備え、環境学習やワークショップの場を提供しています。

【今後の予定】

既存工場棟の解体工事を実施しています。



DBO方式(公設民営)により、整備運営費用が縮減できたよ。

「町田市公共施設再編計画」では、施設を機能毎に26の分野に分けて、各施設の方向性を示しています。また、直近の9年間(2018~2026年度)の取り組みを短期再編プログラムとして位置づけ、推進しています。

生涯学習施設(生涯学習部)

「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」を策定しました

町田市生涯学習センターの役割や事業内容を改めて見直し、効率的・効果的な管理運営を実現するため、2022年2月に、「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」を策定しました。

【「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」の主な内容】

- ・町田市生涯学習センターの沿革・現状分析・課題・目指す姿
- ・目指す姿実現のための事業の見直し
- ・効率的・効果的な管理運営体制の検討 等

【今後の予定】

策定した方針に基づき、見直しを行うための実行計画を策定します。

障がい福祉施設等(地域福祉部)

ひかり療育園を民営化しました

2021年10月に、公募型プロポーザル方式によってひかり療育園の新たな運営事業者を選定しました。その後2022年1~3月に、事業者への引継ぎを実施し、2022年4月から民営化しました。

【今後の予定】

円滑な運営体制移行のため、運営費補助や、運営引継ぎのための市職員の配置(1年間)等、運営上の支援を行っています。

産業系施設(経済観光部)

「町田市産業支援施設複合化基本計画」を策定しました

町田新産業創造センター、町田商工会議所、町田市勤労者福祉サービスセンターの産業支援施設の複合化にあたり、その方向性を示した、「町田市産業支援施設複合化基本計画」を策定しました。

【「町田市産業支援施設複合化基本計画」の主な内容】

・施設の基本方針

事業者や働く人のチャレンジをさらに支援するほか、人の交流を通じた新たな価値を創出するなど、市の産業振興を加速させるため、町田市の産業振興を牽引する拠点となる施設を目指します。

・施設のコンセプト

- (1) 町田市の産業振興を「牽引する」
- (2) 事業者や働く人のチャレンジを「後押しする」
- (3) ビジネスに携わる人々の事業活動力を「高める」

・施設候補地

施設候補地は、町田新産業創造センターの現有地とします。

【今後の予定】

2022年には、産業支援施設の複合化に向けて、民間活力導入可能性調査を実施し、整備事業手法を決定します。2023年度以降は、事業者の公募・選定、設計・建設工事等を進め2028年度中のオープンを目指します。

健康増進温浴施設がオープンしました

町田市バイオエネルギーセンターの熱回収施設(ごみの焼却施設)で発生する熱エネルギーを有効に活用するため、幅広い世代の健康の増進と交流を図る温浴施設が室内プール敷地内に、2022年4月1日からオープンしました。

- ・規模: 約1,600㎡、地上3階建て
- ・主要施設: 男女浴場、サウナ、休憩室、多目的室、フリースペース



町田市公共施設マネジメント

検索

この広報紙は、100,000部作成し、1部あたりの単価は6円です。(職員人件費を含みます。)

公共施設マネジメントで

いいこと
ふくらむ
まちだ